慶應義塾 Keio University 三田オープンカレッジ

2021年度　講座一覧（日程・時限順）

申込締切　　春前半：4/26（月）春後半：6/4（金）秋前半：9/10（金）秋後半：10/15（金）

講座番号	講座名	担当講師	学期	日程	時限	ページ
21101	山と日本人－日本文化の根底を探るー	鈴木　正崇　（名誉教授（文学部））	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	2	2
21102	デジタルトランスフォーメーション入門 ー人と組織のアプローチ	中妻　照雄　（経済学部　教授） 嘉治　佐保子　（経済学部　教授） 福原　正大　（経済学部　特任教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	2	4
21103	ニュースの見方、考え方（その1） ―ジャーナリズム論の視点から時事問題を読みとく―	大石　裕　（法学部　教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	3	6
21104	米中「新冷戦」の行方 ―コロナ禍で中国は何を目指しているか？	駒形　哲哉　（経済学部　教授） 加茂　具樹　（総合政策学部　教授） 小嶋　華津子　（法学部　教授） 安田　淳　（法学部　教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	3	8
21105	福澤諭吉の生涯をたどる―１２０年のときをこえて	西澤　直子　（福澤研究センター　教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	3	10
21106	慶應スポーツ最前線 －コーチングとデータ活用の融合－	坂井　利彰　（体育研究所　准教授） 加藤　貴昭　（環境情報学部　准教授） 神武　直彦　（大学院SDM研究科 教授） 稲見　崇孝　（体育研究所　専任講師）	春前半	5月22日、29日、6月5日、12日	4	12
21107	経済学らしくない経済学を学ぼう	中島　隆信　（商学部　教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	4	14
21108	デジタル化と市場経済の未来―サイバー文明の夜明け―	國領　二郎　（総合政策学部　教授）	春前半	5月15日、22日、29日、6月5日	5	16
21109	超高齢社会を生きる： 生涯現役社会を実現して豊かな長寿社会を将来世代に伝える	清家　篤　（名誉教授（商学部）） 風神　佐知子　（商学部　准教授）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	2	18
21110	ニュースの見方、考え方（その2） ―激変するメディア環境におけるニュースのあり方・受け止め方を考える	牧野　和宏　（一般社団法人共同通信社　前常務理事）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	3	20
21111	文章表現　小説・エッセイの書き方（その１）	黒川　英市　（三田文學編集部　渉外広報担当主任）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	3	22
21112	リーダーシップ基礎実践講座	田村　次朗　（法学部　教授） 隅田　浩司　（東京富士大学　経営学部　教授） 杉田　一真　（産業能率大学　教授）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	3	24
21113	あなたの中の動物たち―心の起源を訪ねて―	渡辺　茂　（名誉教授（文学部））	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	4	26
21114	リーダーシップと教養講座	田村　次朗　（法学部　教授） 山内　慶太　（看護医療学部　教授） 笹沼　泰助　（株式会社アドバンテッジパートナーズ　代表パートナー） 朝比奈　一郎　（青山社中株式会社　筆頭代表CEO）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	5	28
21115	ビジネス・教養のための経済法則を学ぶ ―ポスト・コロナ時代の経済と政府の役割―	藤田　康範　（経済学部　教授）	春後半	6月19日、26日、7月3日、10日	5	30
21116	理工学部　学問のすゝめ ーBeyond５Gのビジネスチャンスー	山中　直明　（理工学部　教授） 渡辺　克也　（理工学部　特別招聘教授） 大槻　知明　（理工学部　教授） 青木　義満　（理工学部　教授）	秋前半	9月25日、10月2日、9日、16日	2	32
21117	詩の楽しみ方―実作と合評	岡　英里奈　（三田文學　編集部主任）	秋前半	9月25日、10月2日、9日、16日	3	34
21118	近代日本を考えるヒント（その１） ー「選挙ポスター」で歴史を読み解くー	玉井　清　（法学部　教授）	秋前半1	9月25日、10月2日	3・4	36
21119	近代日本を考えるヒント（その２）ー「歌」で歴史を読み解くー	玉井　清　（法学部　教授）	秋前半2	10月9日、16日	3・4	38
21120	幸福経営学―従業員と社会を幸せにする働き方とは―	前野　隆司　（SDM研究科　教授）	秋前半2	10月9日、16日	3・4	40
21121	Society5.0における法―自由と規制の未来	大屋　雄裕　（法学部　教授）	秋後半	10月30日、11月6日、13日、27日	2	42
21122	文章表現　小説・エッセイの書き方（その2）	黒川　英市　（三田文學編集部　渉外広報担当主任）	秋後半	10月30日、11月6日、13日、27日	3	44
21123	中華料理から見た日中文化交流史話	山本　英史　（名誉教授（文学部））	秋後半	10月30日、11月6日、13日、27日	3	46
21124	未来の医療とヘルスケア ―ICT・AIとビッグデータを活かす	陣崎　雅弘　（医学部　教授） 岸本　泰士郎　（医学部　専任講師） 武林　亨　（医学部　教授） 宮田　裕章　（医学部　教授）	秋後半	10月23日、11月6日、13日、27日	4	48
21125	戦略立案のためのモデル分析入門 ―AIの活用による予測モデル分析を中心として－	藤田　康範　（経済学部　教授）	秋後半	10月30日、11月6日、13日、27日	5	50
21126	さようならリベラル！また会う日まで。	駒村　圭吾　（法学部　教授） 倉持　麟太郎　（弁護士（弁護士法人Next代表））	秋後半	10月30日、11月6日、13日、27日	5	52

※２限（10:45～12:15）、３限（13:00～14:30）、４限（14:45～16:15）、５限（16:30～18:00）

※やむを得ない事由により講義が休講となった場合、原則次の日程で補講を実施します。（春学期：6月12日(土)、7月17日(土)、秋学期：10月23日(土)、12月4日(土)）

※形式、受講料（回数）：レクチャー形式、15,000円（4回）

※講師の所属・職位は、2021年3月1日時点のものです。

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

山と日本人－日本文化の根底を探る－

2021年05月15日(土)

2限（10:45～12:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21101
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

日本列島で生活する人々の文化を育んできたのは変化に富む山であり、思想や哲学、祭りや芸能、演劇や音楽、美術や工芸などの多彩な展開に大きな役割を果たしてきた。その中核にあったのが山を崇拝対象とする山岳信仰で、山に対して畏敬の念を抱き、神聖視して崇拝し儀礼を執行する信仰形態をいう。山を祀り、登拝して祈願し、舞や踊りを奉納した。山を祈願の対象とし、山との共感を通じて、日々の生活を見つめ直し、新たな生き方を発見した。山は蘇りの場として機能してきたのである。

日本の国土の4分の3は山や丘陵地であるという。日本の山は里からほどよい距離にあったことで多様な山の信仰を育み、山は人々の日々の暮らしの中に溶け込んでいた。日本の山は個性豊かで強い印象を残す。しかし、山は時には土砂崩れや大洪水を引き起こし、噴火するなど災いを齎す。山は祈りと畏れの対象であった。

山岳信仰は近代に大きく変質した。明治政府の神仏分離政策で神仏混淆の山岳信仰は根底から覆ったのである。平成30（2018）年は明治維新150年で同時に神仏分離150年でもあったが、多くの人にはその認識は薄い。日本人の精神文化の根底を支えてきた山岳信仰を通して、日本人にとって山とは何かを考え、近代の在り方を問い直す必要があろう。

今回の講義では、山岳信仰の概説に引き続き、日本の代表的な霊山である出羽三山、富士山、木曽御嶽山を取り上げて、歴史・民俗・文学・芸能など多面的な観点から検討する。近年、日本の山は世界遺産や日本遺産に登録され、「山の日」が国民の祝日となり、「伝統文化」として観光化・資源化に進むなど、新しい動きが生まれつつある。山岳信仰の現状と今後の行方を展望して、「山と日本人」の在り方を再考する。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

鈴木　正崇　慶應義塾大学　名誉教授

日本山岳修験学会会長。日本関係の主要著書に、『神と仏の民俗』（吉川弘文館,2001）、『女人禁制』（吉川弘文館,2002）、『祭祀と空間のコスモロジー』（春秋社,2004）、『山岳信仰』（中央公論新社,2015）、『熊野と神楽』（平凡社,2018）、『女人禁制の人類学』（法蔵館,2021）。受賞歴は、1997年、『スリランカの宗教と社会』で義塾賞、2014年、『ミャオ族の歴史と文化の動態』で木村重信民族藝術学会賞（民族藝術学会）、2016年、「山岳信仰と修験道の研究」で秩父宮記念山岳賞（日本山岳会）。印度学仏教学会理事。民俗芸能学会理事。日本文化人類学会評議員。日本宗教学会評議員等を務める。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：日本の山岳信仰と近代の変容 説明：山岳信仰の歴史を、民俗・思想・芸能への展開、明治の神仏分離による大転換、現代における近代と伝統の相克の観点から考察する。
2021年05月22日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：出羽三山の歴史と修験道の展開 説明：山岳信仰を基盤に死と再生を目指す独自の修行形態を体系化した修験（山伏）について、羽黒山・月山・湯殿山を中心に考える。
2021年05月29日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：富士山の信仰と民衆、美と芸術 説明：富士山の信仰の歴史を探り、山岳修行から、民衆を担い手とする登拝へと変貌してきた状況を検討し、遺産化に揺れる現状を探る。
2021年06月05日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：木曽御嶽山の登拝講の変容と現代 説明：登拝講の信仰登山が盛んだった木曽御嶽山は、2014年の噴火でイメージを変貌した。転換点にある山岳信仰の現状を見つめ直す。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

デジタルトランスフォーメーション入門　ー　人と組織のアプローチ

2021年05月15日(土)

2限（10:45～12:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21102
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

デジタルトランスフォーメーションの入門的な講義を行います。経営者、戦略、人事担当者向けの内容です。
コロナはSociety5.0を加速し、すべての企業がデジタルを前提としビジネス戦略を立てる必要性がでてきています。多くの企業がデジタルトランスフォーメーションの必要性を感じていますが、実行に移すのは容易ではありません。すでに実行していても、成功している企業は一握りと言えるでしょう。このデジタルトランスフォーメーションの本質とはどのようなもので、実行するときにどのような罠が待ち受けているのか、そして何から手をつければいいのかについての講義を行います。
第一回でデジタルトランスフォーメーションとは何かを概観します。第二回でデジタルトランスフォーメーションについて欧米で起こっている最新事例を紹介するとともに、その戦略の要諦を説明します。キーワードは、データ、プラットフォーム、そしてエコシステムです。続く第三回ではデジタルトランスフォーメーション戦略を実行する際の最大の問題となる、人と組織の問題を取り上げます。戦略でデジタルトランスフォーメーションを行う以上、社内における人事などのデジタル化も必須。また、行う上で足かせとなる社内の感情問題をどのようにとらえ、対応するかについても説明します。最後の第四回でデジタルトランスフォーメーションに必要不可欠な技術である機械学習などの原理について解説し、この分野の今後の展望を概観します。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

中妻　照雄　慶應義塾大学　経済学部　教授（本講座コーディネーター）

1991年筑波大学第三学群（現・理工学群）社会工学類卒業、 1998年ラトガーズ大学大学院博士課程修了。一橋大学専任講師を経て、 2000年慶應義塾大学経済学部専任講師に就任、2010年教授。現在、慶應義塾大学大学院経済学研究科委員長、経済学部附属経済研究所所長、同研究所FinTEK センター長。専門はベイズ統計学。Ph.D.(経済学)。

嘉治　佐保子　慶應義塾大学　経済学部　教授

1982年：慶應義塾大学経済学部卒業、1984年：同大学大学院経済学研究科修士課程修了、 経済学部助手。1985年から1988年：The Johns Hopkins University 経済学部博士課程に留学、1988年から1989年：Yale University 経済学部訪問大学院生。1991年：慶應義塾大学経済学部助教授、1992年：The Johns Hopkins University より Ph.D.（経済学博士号）取得。1999年：慶應義塾大学経済学部教授、2007年：慶應義塾大学経済学部Professional Career Programme (PCP) Co-ordinator兼務。2015年：慶應義塾大学経済学部PEARL Academic Director兼務。

福原　正大　Institution for a Global Society株式会社　CEO/創業者・慶應義塾大学　経済学部　特任教授

慶應義塾大学卒業後、三菱UFJ銀行に入行。フランスのビジネススクールINSEADでMBA、グランゼコールHEC（パリ）で国際金融の修士号を最優秀賞で取得。筑波大学で博士号取得。世界最大の資産運用会社バークレイズ・グローバル・インベスターズ入社。最年少マネージングダイレクター、日本法人取締役に就任。「人を幸せにする評価で、幸せをつくる人を、つくる」ことをヴィジョンにIGSを2010年に設立。AIやブロックチェーンテクノロジーを活用し、教育（小学校～大学）、企業、自治体の評価・教育事業を日本のみならず世界で展開している。主な著書に『ハーバード、オックスフォード…世界のトップスクールが実践する考える力の磨き方』（大和書房）、『AI×ビッグデータが「人事」を変える』（朝日新聞出版社）など著書多数。米日財団 Scott M. Johnson Fellow。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：嘉治　佐保子（慶應義塾大学経済学部教授） 主題：デジタルトランスフォーメーションとは何か 説明：デジタルトランスフォーメーションの全体像を説明
2021年05月22日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：福原　正大（慶應義塾大学経済学部特任教授・IGS CEO） 主題：デジタルトランスフォーメーションはなぜうまくいかないのか？ 説明：デジタルトランスフォーメーションに取り組むうえでの課題を説明
2021年05月29日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：福原　正大（慶應義塾大学経済学部特任教授・IGS CEO） 主題：デジタルトランスフォーメーションの罠 説明：デジタルトランスフォーメーションを実行するときに問題となる人と組織の問題とその解決法について
2021年06月05日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：中妻　照雄（慶應義塾大学経済学部教授） 主題：デジタルトランスフォーメーションを支える技術 説明：デジタルトランスフォーメーションに必要不可欠な技術である機械学習などの原理について解説

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

ニュースの見方、考え方（その1）ーージャーナリズム論の視点から時事問題を読みとくーー

2021年05月15日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21103
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・受講者の皆さんからの積極的な質問や意見をお待ちしています。		

講座概要

メディアを通じて社会を知る、社会を通じて自分を知る、これが私のジャーナリズム論の原点です。メディアで報じられたことを通じて社会を知り、社会の動向と自分の考えを比べて自分を知る、この作業を行うために私たちはメディアやジャーナリズムについて学ぶというわけです。この講義では、気になるニュースについて簡単な解説をし、ニュースの見方や考え方に関する実践的なヒントを提供します。そのあと、『批判する／批判されるジャーナリズム』（大石裕著、慶應義塾大学出版会、2017年）を使ってニュースの見方や考え方に関して、研究や調査の観点から講義します。皆さんのニュースを見て、考える力を少しでも向上できればと願って、授業を行いたいと考えています。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

大石　裕　慶應義塾大学　法学部　教授（慶應義塾常任理事／三田オープンカレッジ長）

・慶應義塾大学法学部政治学科教授（ジャーナリズム論・政治コミュニケーション論）、慶應義塾常任理事・主な著書として『政治コミュニケーション』、『ジャーナリズムとメディア言説』、『メディアの中の政治』（いずれも勁草書房）、『批判する／批判されるジャーナリズム』、『コミュニケーション研究』（いずれも慶應義塾大学出版会）、などがある。
・現在、TBSラジオ番組審議会委員長、Yahooニュースメディア運営に関する第三者委員会委員、日本アカデメイア幹事などに就いている。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースとは何か 説明：ニュースという情報の特質について解説する。
2021年05月22日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースバリューとニュースの編集プロセス① 説明：この出来事はなぜニュースになったのか、この出来事はニュースとしてなぜ大きく取り上げられたのか、という問題について説明する。
2021年05月29日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースバリューとニュースの編集プロセス② 説明：2回目と同様
2021年06月05日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：フェイクニュースという「社会問題」 説明：フェイクニュースに関して、SNSなどの新たなメディアとの関連を中心に考える。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

米中「新冷戦」の行方――コロナ禍で中国は何を目指しているか？

2021年05月15日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21104
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

米前政権時に始まった「米中貿易戦争」は「技術覇権」、体制間競争へと進み、米中対立は「新冷戦」と呼ばれるまでになっている。中国発の新型コロナウィルス感染症の拡大は、ヒトとモノの動きを止め、グローバル化の進展にブレーキをかけることになった。先進国の政治経済が、感染症拡大によって混乱するなか、中国はいち早く経済の回復に「成功」している。米国との対立にも「籠城戦」の構えを見せつつ、2020年代のうちに経済規模で中国が米国を凌駕するとの推計もあらわれている。経済力の強化は安全保障バランスにも影響を及ぼすが、中国は先進諸国が国内の新型コロナ対応に忙殺される隙に乗じ、勢力圏拡大に動いている。他方、コロナ禍での国境を跨ぐ人の流れの滞り、中国内での統制強化もあって、習近平体制の下での政治・社会・経済の諸問題について、外部の人間が体感から議論することが難しくなっている。

しかし、そうであるからこそ、中国がなぜ政治の集権を強化しつつ強硬な外交姿勢を示すのか、コロナ禍からの回復のカギが社会管理にあるといっても、なぜそれが機能するのか、中国経済がなぜ強靭な力をもちつつあるのか、中国の安全保障の捉え方の何が変わり、変わらないのかといった問題について改めて考えてみる必要があるだろう。

本講座では、米新政権下でも容易には融けない米中対立下、そしてコロナ禍の環境の下で、中国がどのような方向に進もうとしているのか、政治・経済・社会・安全保障の側面から論じていきたい。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

駒形 哲哉　慶應義塾大学　経済学部　教授（本講座コーディネーター）

慶應義塾大学経済学部教授、博士（経済学）。専攻は中国経済論、経済体制論、産業論。慶應義塾大学経済学部卒、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。霞山会給費留学生として南開大学留学（1989-90年）。霞山会職員、獨協大学経済学部専任講師、慶應義塾大学経済学部専任講師、准教授を経て2011年より現職。主著に『中国の自転車産業 「改革・開放」と産業発展』(単著、慶應義塾大学出版会、 2011年、慶應義塾賞、樫山純三賞受賞)、『移行期 中国の中小企業論』(単著、税務経理協会、2005年、中小企業研究奨励賞経済部門本賞受賞)など。

加茂　具樹　慶應義塾大学　総合政策学部　教授

慶應義塾大学総合政策学部教授、博士（政策・メディア）。専攻は現代中国政治・外交。主著に『現代中国政治と人民代表大会』（慶應義塾大学出版会、2006年）、『現代中国の政治制度:時間の政治と共産党支配』（編著、慶應義塾大学出版会、2018年）など。

小嶋　華津子　慶應義塾大学　法学部　教授

慶應義塾大学法学部教授、博士（法学）。専攻は現代中国政治。主著に『現代中国の市民社会・利益団体ー比較の中の中国』（共編著、木鐸社、2014年）、『中国の公共性と国家権力――その歴史と現在』（共編著、慶應義塾大学出版会、2017年）など。

安田　淳　慶應義塾大学　法学部　教授

慶應義塾大学法学部教授。専攻は現代中国の軍事・安全保障。主著に『中国をめぐる安全保障』（共編著ミ、ネルヴァ書房、2007年）、『台湾をめぐる安全保障』（共編著、慶應義塾大学出版会、2016年）など。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：加茂　具樹（慶應義塾大学総合政策学部教授） 主題：中国政治の集権化と「大国」外交 説明：中国政治は集権化を、外交は強硬化の道を歩んでいます。なぜ習近平指導部は集権と強硬を選択するのか。指導部の政治外交観を考えます。
2021年05月22日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：小嶋　華津子（慶應義塾大学法学部教授） 主題：習近平政権の社会統治とコロナ禍 説明：中国が欧米諸国に比してコロナ禍対策を成功させた秘訣は、居住区ごとの徹底した社会管理にあると言われています。本講義ではそれが示唆する問題について考えます。
2021年05月29日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：駒形　哲哉（慶應義塾大学経済学部教授） 主題：中国経済の「独り勝ち」は続くのか？ 説明：米中対立、コロナ禍で「脱中国」が叫ばれつつも、経済の対中依存は深化しています。本講義ではその経緯と是非について考えてみたいと思います。
2021年06月05日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：安田　淳（慶應義塾大学法学部教授） 主題：中国の安全保障 説明：さまざまに変容する国際社会の中で、中国の安全保障は何が変わり、何が変わらないのか。根本を見据え、柔軟に対応する。日本の視点からこうしたことを考えます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

福澤諭吉の生涯をたどる―１２０年のときをこえて

2021年05月15日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21105
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

福澤諭吉は、1835年に生まれ、1901年に歿しました。66年と少しのその生涯は、ちょうど1868年、慶応から明治へと変わる年で折り返します。すなわち彼は江戸時代を33年、明治時代を33年間生きたことになります。
福澤諭吉は先見の明を持ち、いかにもしなやかに、時代の変革期を乗り越えたように思えるかもしれません。彼の才能をもってすれば、大きな業績を残すことができたのも当然とみる人も多いでしょう。しかし、彼の思考の基礎は前近代の環境のなかで作られたのであり、彼の中には封建体制下で培われた感覚も存在していました。そこから何に気づき、何を見据えて自らの、そして日本の近代化の道を切り開いていったのでしょうか。
この講座では4回にわたり、福澤の生涯を誕生からたどりながら、120年の時を超えて、彼が何に悩み、何を目指し、どのような努力を重ねたかを考えていきたいと思います。変革期を生きた彼の発想は、いままた大きな転換期を迎えている私たちに、多くの示唆を与えてくれると思います。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

西澤 直子　慶應義塾福澤研究センター　教授

1961年東京生まれ。1986年慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程を修了後、福澤研究センターに勤務。2005年より助教授（准教授）、2010年より教授。『福澤諭吉書簡集』（全9巻、岩波書店、2001～3年）、『福澤諭吉著作集』第10巻（慶應義塾大学出版会、2003年）、『福澤諭吉事典』（慶應義塾、2010年）で編者を務める。単著に『福澤諭吉とフリーラヴ』（慶應義塾大学出版会、2014年）、『福澤諭吉と女性』（慶應義塾大学出版会、2011年）。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：福澤諭吉の生涯１　江戸出府まで 説明：中津への感情を読み解きながら、福澤諭吉の学問的基礎を考える
2021年05月22日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：福澤諭吉の生涯２　海外体験と学問のすゝめ 説明：渡米および渡欧体験から受けた大きな影響と、変革期における彼自身の変化を探る
2021年05月29日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：福澤諭吉の生涯３　人間交際 説明：人間交際を重視した福澤の「交際」に関わる取組みと、その中での女性論家族論について考える
2021年06月05日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：福澤諭吉の生涯４　出来してみたいこと 説明：『福翁自伝』で彼が述べた、これからやってみたいことについて、彼がどのように取り組み、何を目指していたのかを考える

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

慶應スポーツ最前線－コーチングとデータ活用の融合－

2021年05月22日(土)

4限（14:45～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21106
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・講師の都合により、5月15日の講義を6月12日に振替えます。本講座の開講は5月22日となりますので、ご注意ください。		

講座概要

スポーツの歴史は時代の移り変わりを反映しています。スポーツの意味するものも時代によって変わってきています。コロナ禍においては改めてスポーツの価値が再確認されたと考えています。教育におけるスポーツ（体育）の重要性を認識し、慶應義塾における体育教育のあり方も変化してきました。この講座では、「慶應スポーツ最前線」と題し、コーチングとデータ活用の融合を通した慶應スポーツの最前線の現場の知見を共有したいと考えています。プロスポーツ、大学スポーツ、慶應義塾とスポーツ、東京オリンピックという4つの観点からスポーツをめぐる歴史と現状を多角的に解説します。講師は慶應義塾大学教員で、それぞれの専門の領域から講義をします。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

坂井　利彰　慶應義塾大学　体育研究所　准教授（本講座コーディネーター）

1974年生まれ。慶應義塾大学体育研究所准教授。博士（政策・メディア）。全日本学生テニス選手権単優勝、全豪オープン予選出場。引退後は慶應義塾大学庭球部監督に就任。2012年より慶應義塾大学体育研究所専任講師を経て現職。専門はスポーツコーチング、スポーツマネジメント。社会活動としては日本テニス協会理事、NHKテニス解説者を務める。

加藤　貴昭　慶應義塾大学　環境情報学部　准教授

1997年環境情報学部卒、大学院政策・メディア研究科2000年修士課程修了、2003年同博士課程修了、博士(学術)。慶應義塾体育会野球部OB、元MLB Chicago Cubs Baseball Club所属選手。慶應義塾体育会副理事。三田倶楽部理事。日本人間工学会、日本スポーツ心理学会などに所属。主な著書として「スポーツパフォーマンスと視覚」（2019年、ナップ）など。

神武　直彦　慶應義塾大学　大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

慶應義塾大学大学院理工学研究科修了後、宇宙開発事業団入社。H-IIAロケットの研究開発と打上げに従事。欧州宇宙機関研究員を経て、宇宙航空研究開発機構主任開発員。2009年度より慶應義塾大学准教授。現在、同教授。日本スポーツ振興センターハイパフォーマンス戦略部アドバイザーを歴任。トップアスリートから学校体育までのスポーツへのテクノロジー活用を推進し、慶應キッズパフォーマンスアカデミーを主宰。スポーツテック研究で論文賞多数。

稲見　崇孝　慶應義塾大学　体育研究所　専任講師

慶應義塾大学体育研究所専任講師

2011年中京大学大学院体育学研究科博士後期課程（健康科学系）修了。博士（体育学）。2004年愛知医科大学医学部附属運動療育センター、2013年エディスコーワン大学（オーストラリア）運動健康科学部、2014年早稲田大学スポーツ科学学術院を経て2017年から現職。主な著書として「コンカレントトレーニング 最高のパフォーマンスを引き出すトレーニング順序の最適解」（2021、東洋館出版）などがある。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月22日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：加藤貴昭（慶應義塾大学　環境情報学部　准教授） 主題：SFC発スポーツサイエンスへの取り組み 説明：慶應義塾の目的「気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、(中略）以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」に基づき、湘南藤沢キャンパス（SFC）では「未来を先導する」理念のもと、実学（＝実証科学）に取り組み、スポーツの分野においても未来に向かって学術面から進化を続けています。文武双全を体現している体育会をはじめとする学生達の取り組みや、eスポーツを含めた多様なスポーツサイエンス研究を紹介し、未来のスポーツの可能性について考えたいと思います。
2021年05月29日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：神武直彦（慶應義塾大学　大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授） 主題：虫・鳥・魚：多角的視点と掛け算でスポーツの未来を創出する～ データ駆動型社会におけるシステムデザイン～ 説明：5GやIoTの整備が進み、スマフォやドローンのような高機能化しつつ、コモディティ化したIoTデバイスが普及する中で、どこで何が起きているのか、何がどう活動しているのかを迅速に、そして、俯瞰的かつ緻密に把握・解析することが可能になりつつあります。この変化に伴い、GPSやカメラ、心拍センサーからのデータによってアスリートの怪我のリスクを予測したり、チームパフォーマンスを高めるための戦術を組み立てたり、従来、簡単にはできなかったデータに基づく意思決定が様々なことで可能になってきています。一方、テクノロジーでは明らかにできないことも数多くあります。そのために、ヒトとヒトが対話をし、ヒトによってコミュニティを理解することも大切で、そこから得られるデータによって様々なことを理解し、予測することが可能になります。本セミナーでは、具体的な事例の紹介を中心に、様々なテクノロジーがコモディティ化しつつあること、テクノロジーとヒトによるデータによって価値あるスポーツの未来を創り出すシステムデザインについてお話しできればと思います。
2021年06月05日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：稲見崇孝（慶應義塾大学　体育研究所　専任講師） 主題：野球選手のパフォーマンスとコンディショニングを「見る」 説明：本講では、スポーツ科学領域で用いられるデータ取得による「見える化」を通じた野球選手のパフォーマンスとコンディショニングサポートについて解説します。また、「見える化」を通じた教育プログラムに関する包括的な高・大接続の取り組み（一貫教育校による高校入学から大学卒業までの７年間の縦断的で持続的な取り組み）を紹介します。慶應義塾高校野球部監督の森林貴彦氏、慶應義塾大学野球部助監督の竹内大助氏をゲストに迎え、現場における医科学データを活用したコーチングに関するお話も伺うことを予定しており、スポーツの「見える化」による現在、未来についてディスカッションを進めます。
2021年06月12日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：坂井利彰（慶應義塾大学　体育研究所　准教授） 主題：日本テニス協会や慶應義塾大学庭球部におけるコーチング実践 説明：現在、スポーツにおけるハイパフォーマンス領域においてはエビデンスに基づいたコーチングが主流となっています。日本テニス協会や慶應義塾大学体育会庭球部において実践している医科学データを活用したコーチングに関する具体例を提示し、世界テニスや大学テニスのコーチングに関する最前線をご紹介します。 また、スポーツ医学研究センターの石田浩之教授をゲストに迎え、冬季オリンピックチームドクターのご経験を踏まえた視点でのお話も伺う予定です。 創立者 福澤諭吉は、「まず獣身を成して後に人心を養う」と述べ、明治26（1893）年３月23日付『時事新報』には「体育の目的を忘るゝ勿（なか）れ」という記事を書きました。また、小泉信三元塾長は「スポーツが若者に与える３つの宝」として「練習によって不可能を可能にするという体験」「フェアプレーの精神」「友」を挙げました（慶應義塾体育会創立七十周年式典記念講演（昭和３７年）より）。これらにも触れながら、多様に変化するこれからの社会に求められるスポーツを「慶應義塾スポーツ最前線」を通して展望します。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

経済学らしくない経済学を学ぼう

2021年05月15日(土)

4限（14:45～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21107
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

経済学は「おカネの話」ばかりする学問だと思っていませんか？あるいは経済学を勉強するとお金持ちになれると思っていませんか？この講義はそうした世間一般の誤解を解き、日々の暮らしに経済学を活用してもらうことを目指すものです。経済学は「社会現象の見方」です。人間の合理的な行動を前提に、社会がどのように動いているか、そのメカニズムを分析します。そしてそのメカニズムを活用して、社会問題の解決策を提示します。ですので、その対象は「おカネの話」だけに限りません。人間が関わるすべての事象が経済学の分析対象になるのです。この講義では、こうした経済学の考え方をお示しした後、私がこれまで手がけてきた「大相撲」「お寺」「家族」など一見すると経済学とは関連しないようなテーマのなかからいくつかピックアップしてお話しします。経済学との関連が薄いと思われる理由は、これらの組織が必ずしも一般の財やサービスに見られる市場メカニズムによって動いていないためです。伝統文化や宗教などの分野は業界独特のルールや政府の規制に従って動いています。そのため、純粋な市場経済とはさまざまな面でズレが生じます。そうしたズレが大きくなりすぎると、不祥事が起きたり、国民にそっぽを向かれたりして、業界が廃れていきます。経済学を学ぶことによって、特定の業界で問題が起きる理由もわかりますし、どうすればそれを解決できるかもわかります。本講義ではそれぞれの業界の裏話も随時織り込みながら、みなさんの知的好奇心をかき立てる内容にしたいと考えています。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

中島　隆信　慶應義塾大学　商学部　教授

1960年神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。同大学経済学研究科博士課程単位取得退学。博士（商学）。2001年より慶應義塾大学商学部教授。これまで経済学の思考法をさまざまな分野に応用し、新たな視点を示すことに関心を持っている。主な著書に、『大相撲の経済学』『お寺の経済学』『障害者の経済学』『オバサンの経済学』『高校野球の経済学』（以上、東洋経済新報社）『「笑い」の解剖』（慶應義塾大学出版会）など多数。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：「経済学的思考法」の解説 説明：身近なテーマをとりあげつつ、本シリーズにおける統一的な「考え方」を解説します
2021年05月22日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：大相撲と高校野球の経済学 説明：伝統文化とスポーツの融合である「大相撲」と100年以上の歴史を持つ国民的イベントである「高校野球」を経済学的に分析します
2021年05月29日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：お寺の経済学 説明：宗教法人である「お寺」がどのような問題を抱え、今後どのようになっていくかを解明します
2021年06月05日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：家族の経済学 説明：家族という組織がどのような論理のもとで形成されているかを明らかにし、家族ゆえの問題点とその解決策を探ります

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

デジタル化と市場経済の未来―サイバー文明の夜明け―

2021年05月15日(土)

5限（16:30～18:00）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期前半	**講座番号**	21108
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

IoT、クラウド、AI、５Gなどの技術は、あらゆるモノの追跡可能性（トレーサビリティ）を高め、19世紀の第二次産業革命以来の大量生産した商品を匿名の大衆に販売するという前提を大きく変えつつある。
既に、モノ、カネ、ヒト、情報の全てがつながり続ける中でサブスクリプションモデル、シェアリングモデルなどが急速に展開しつつある。
この流れは最終的には、所有権を金銭を媒介にして移転させるという市場経済の根本を本質的に変化させる流れになるだろう。
このような技術・経済・社会の変化を的確に理解するために必要な基礎知識を学び、未来社会の姿を受講者とともに探索するシリーズとしたい。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

國領　二郎　慶應義塾大学　総合政策学部　教授・慶應義塾常任理事

1982年東京大学経済学部卒。日本電信電話公社入社。1992年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。1993年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。2000年同教授。2003年同大学環境情報学部教授などを経て、2009年総合政策学部長。2005年から2009年までSFC研究所長も務める。2013年より慶應義塾常任理事に就任し、現在に至る。主な著書に「オープン・アーキテクチャ戦略」（ダイヤモンド社、1999年）、「ソーシャルな資本主義」（日本経済新聞社、2013年）がある。

スケジュール

日　時	内　容
2021年05月15日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：情報技術と社会システムの共進化 説明：技術と社会が相互に相手に影響を与えながら進化するメカニズムを「トレーサビリティ（追跡可能性）」という概念を例に出しながら解説する
2021年05月22日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：IoT、AI、クラウドがもたらす根源的な経済構造の変化 説明：新しい情報技術が全てのモノを可視化することで、社会構造を変えていく姿について議論する
2021年05月29日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：「みえる社会」の経済原理とビジネスの姿 説明：「ネットワーク外部性」などデジタル技術がもたらす新しい経済構造の原理について解説する
2021年06月05日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：サイバー文明の夜明け 説明：農業文明、工業文明につづく、新しいサイバー文明の姿について考える

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

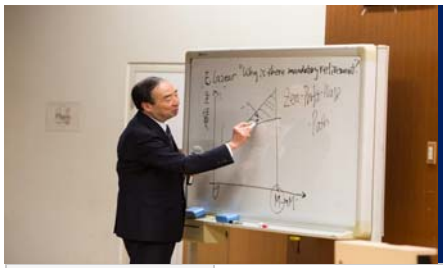
三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

超高齢社会を生きる：生涯現役社会を実現して豊かな長寿社会を将来世代に伝える



2021年06月19日(土)

2限（10:45～12:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21109
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

日本の人口高齢化は文字通り世界に類を見ないものです。この高齢化によって日本の経済社会は様々な影響を受けつつあります。しかし高齢化自体は戦後日本の経済成長の結果でもあります。
この講義ではまず人口高齢化をもたらした背景要因とその影響について明らかにします。具体的には、少子高齢化による経済成長率や社会保障制度の持続可能性の低下の問題、さらにその中でも団塊世代と団塊ジュニア世代のもたらす「2025年」や「2040年」という特定時代問題について考えます。
高齢化への方策として最も重要なのは、高齢社会の支え手を増やすことです。そのためには、女性の就労を促進し出生率を回復させること、また働く意思と仕事能力のある高齢者の能力活用は必須の条件となります。そのために必要な方策を事例等にも触れつつ考えます。
豊かな長寿社会を将来世代に伝えていくために、年金、医療、介護など主として高齢者向けの給付に偏っていた社会保障給付を、若者を含めた全世代型に転換し、さらに年金を就労促進型に、さらに医療・介護を「病院中心」から「地域中心」に転換しなくてはなりません。そのために必要な方策を具体的な事例などにも触れつつ考えます。
高齢社会の支え手として、誰もが働きやすい社会にするためには、働き方を変える必要があります。働き方が変わると、職業訓練の在り方も変化します。つまり、どこで、誰がコストを負担して、新たなスキルを身につけるのかが変わります。従来のサラリーマン、フリーランサーやテレワーカー、副業などと人的資本投資について考えます。
そして最後に、世界に類を見ない長寿社会をグローバル競争と地域経済の視点から考えます。国際競争力の高い企業で生み出される富および雇用、介護・医療や生活圏の狭まった高齢者の地域社会での消費と雇用、これら両者の関係についてみていきます。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

清家　篤　慶應義塾大学　名誉教授/日本私立学校振興・共済事業団理事長

1978年慶應義塾大学経済学部卒業、1980年慶應義塾大学商学部助手、1985年同助教授を経て、1992年より同教授。博士(商学)。専攻は労働経済学。 2007年より商学部長、2009年5月から2017年5月まで慶應義塾長。この間、社会保障制度改革国民会議会長、日本労務学会会長、ILO仕事の未来世界委員会委員などを歴任。2016年フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章。主な著作に『労働経済』（風神佐知子氏と共著）東洋経済新報社、2020年、『雇用再生』NHKブックス、2013年、『エイジフリー社会を生きる』NTT出版、2006年、『高齢者就業の経済学』(山田篤裕氏と共著)日本経済新聞社、2004年（2005年の第48回日経・経済図書文化賞受賞)、『定年破壊』講談社、2000年、『生涯現役社会の条件』中公新書、1998年、『高齢化社会の労働市場』東洋経済新報社、1993年（1994年の第17回労働関係図書優秀賞受賞)など。

風神　佐知子　慶應義塾大学　商学部　准教授

慶應義塾大学商学部卒業、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。博士（商学）。専攻は労働経済学。日本労務学会常任理事、人材と競争政策に関する検討会委員(公正取引委員会)、労働経済分析研究会委員(厚生労働省)、地域活性化雇用創造プロジェクト評価・選定委員会委員（厚生労働省）、今後の若年者雇用に関する研究会委員(厚生労働省)、国土の長期展望専門委員会委員（国土交通省）などを歴任。主な著作・論文に、『労働経済』（清家篤氏と共著）東洋経済新報社、2020年、“Mechanisms to improve labor productivity by performing telework," Telecommunications Policy, Vol.44 (2), March 2020、“Local Multipliers, Mobility and Agglomeration Economies," Industrial Relations, Vol.56 (3), July 2017、“Evaluating place-based job creation programs in Japan,”IZA Journal of Labor Policy, January 2017 ほか。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：清家篤（慶應義塾大学名誉教授/日本私立学校振興・共済事業団理事長） 主題：世界に類を見ない高齢化とその影響 説明：世界に類を見ない日本の人口高齢化の特徴とその背景、そのもたらす経済・社会への大きな影響について考えます。
2021年06月26日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：清家篤（慶應義塾大学名誉教授/日本私立学校振興・共済事業団理事長） 主題：生涯現役社会実現の条件 説明：高齢者の就労促進のための働き方改革と、それを進めるための政策課題、豊かな長寿社会を将来に伝えるための社会保障制度改革について考えます。
2021年07月03日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：風神佐知子（慶應義塾大学商学部准教授） 主題：働き方の変化とスキルの習得 説明：働き方が変わると職業訓練の在り方も変わります。長寿社会における人的資本投資について考えます。
2021年07月10日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：風神佐知子（慶應義塾大学商学部准教授） 主題：世界の中の長寿社会と地域の中の長寿社会 説明：超高齢社会をグローバル競争と地域経済の視点から、富（賃金）、消費、雇用の在り方や波及について考えます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

ニュースの見方、考え方（その2）＝激変するメディア環境におけるニュースのあり方・受け止め方を考える

2021年06月19日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21110
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

インターネットやＳＮＳで情報が瞬時に伝わる時代。通信技術の発達で情報量は加速度的に増え、その到達範囲も際限なく広がっていきます。報道の世界では隠された事実を明るみに出す努力を続ける一方で、誤報やフェイクニュースも後を絶ちません。玉石混交の情報があふれる中で、歴史の１ページとして刻まれる正確なニュースをどうやって見分ければいいのでしょうか。本講座では、通信社記者としてニュースの発掘・発信現場に長く携わった経験を基に、新聞・放送・ネットの各メディアの特性とニュースの流れ、メディアを取り巻く環境変化を実態に即して紹介し、報道のあり方と受け止め方を考えます。実際のニュース原稿を使って、記事の正確性、分かりやすさ、内容の深さを検証し、ニュースの意味や発信者側の意図を解き明かす実践講座です。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

牧野　和宏　一般社団法人共同通信社　前常務理事

１９５６年３月生まれ、慶應義塾大学法学部政治学科卒業、新聞研究所修了。８０年、社団法人共同通信社入社。社会部記者・デスクとして、薬害エイズ、オウム真理教、神戸の連続児童殺傷、和歌山の毒物カレーなどの事件のほか、個人情報とプライバシー保護、少年犯罪と報道、裁判員制度導入に伴う犯罪報道の見直しなどに取り組む。２００６年、社会部長。その後、デジタル担当などを経て２０１５年、常務理事就任。業務、放送報道、経営企画を担当し１９年６月退任。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースはどのように伝わるのか 説明：新聞、放送、ネット各媒体の特性変化と環境変化の中で、ニュースの流れと質がどう変化しているかを検証します
2021年06月26日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースはどのようにして生まれるのか 説明：取材現場・編集現場の実態と変容を解説します。特ダネはどのようにして生まれるのか。記者クラブの是非なども検討します
2021年07月03日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースと人権・プライバシー 説明：ニュースは人権を侵害するのか。個人情報やプライバシー保護と公益性のバランスを実名・匿名報道のあり方を通して考えます
2021年07月10日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：ニュースと世論 説明：世論はどう形成されるのか。世論操作やフェイクニュースの実態、客観報道について検証し、ニュース報道の役割を考えます

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

文章表現　小説・エッセイの書き方(その1)

2021年06月19日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21111
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

文章は才能ではなく技術で書く。そのために必要なテクニックを理論と実践、読むことと書くことから学んでいきます。普段の生活だとなかなか意識しない言葉の選択、使い分けなどを学び、文章表現に活用することができるようになると、書くことの楽しみや喜びが増えるようになります。雑誌『三田文学』内、会員エッセイコーナー「ろばの耳」に掲載することを目標にして、さらに三田文學新人賞へ応募できる作品を創作できるように、勉強していきましょう。他の受講生に読んでもらうことも大切ですが、どうしても抵抗ある方は、私からの講評だけにいたします。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

黒川　英市　三田文學編集部　渉外広報担当主任

1979年東京生まれ、慶應義塾大学経済学部卒。出版社勤務を経て、現在、東京工芸大学芸術学部講師。三田文學編集部勤務。小説「リンガの彼方」で第二十三回三田文学新人賞奨励賞受賞。「ディーピカ」（「三田文學」133号）、「跛行」（「三田文學」142号）「座談会　アジア放浪から見えるもの」（「三田文學」131号）等。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：「日本語の特性」と表現方法 説明：日本語には、他言語にはない特性がいくつもあります。無意識に使っている言語を見直して、その特性を使った表現方法を考えます。
2021年06月26日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：小説・エッセイにおける表現方法 説明：いくつかのエッセイを読みながら、エッセイの書き方を考えます。まずは気楽に書いてみましょう。
2021年07月03日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：エッセイの書き方（1000字） 説明：お互いに書いたものを読んでみましょう。実際に読んでもらい講評してもらうことで新しい発見が必ずあります。
2021年07月10日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：創作について 説明：エッセイだけでなく、創作について考えていきます。10月末締切の三田文學新人賞に向けて書く準備をしてみませんか。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

リーダーシップ基礎実践講座

2021年06月19日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21112
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・皆様がより受講しやすいように、昨年度までの内容を厳選して4回の講座にまとめました。・自らの課題解決・目的達成に向けていかに周囲を巻き込み動かすか、そのために必要な様々なスキルを学びたいと希望される方向けの実践的な講座です。社会人のみならず大学生、大学院生の方も社会に出る前にぜひ身につけていただければと思います。受講者の希望があれば、4時限も延長して実施します。「リーダーシップと教養講座」との同時受講を推奨します。		

講座概要

リーダーシップ基礎実践講座は、21世紀の大きな変革の中で社会に求められるリーダーシップとは何か、社会に貢献し、新しい価値を生み出すためにはどのようなスキル・方法論を身につけるべきかについて、主体的に学び、そして塾生同士が共に学び合う講座です。この講座では、組織内交渉力（グループ・ダイナミクス）や交渉学といった、リーダーシップのための最新のスキル・方法論を学びます。さらに、その学びを社会に還元するため、講座内で協働して社会性と事業性を兼ね備えた政策を立案・提言します。このような学びを通じて、塾生は、密度の濃い対話と深い内省の機会を得ることが可能です。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席（最終日は必須）かつ担当教員による判定

講師紹介

田村　次朗

慶應義塾大学　法学部　教授／ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー（本講座コーディネーター）

慶應義塾大学法学部教授／ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー／（本講座コーディネーター）
専門は、経済法、国際経済法、および交渉学。各省庁などの委員を務めるとともに、日米通商交渉、WTO（世界貿易機関）交渉等に携わる。ダボス会議（世界経済フォーラム）の「交渉と紛争解決」委員会の委員等、最前線における国際交渉の活躍経験もある。日本における「リーダーシップ基礎」・「交渉学」の研究・教育の開発に取り組んでいる。

隅田　浩司　東京富士大学　経営学部　教授

東京富士大学経営学部教授、慶應義塾大学法学部法律学科卒業、同大学大学院法学研究科民事法学専攻後期単位取得退学、博士（法学）（慶應義塾大学）。 専門は、経済法、国際経済法及び交渉学。東京大学先端科学技術研究センター特任研究員を経て現職。慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート上席客員所員ならびに金沢工業大学虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科客員教授を兼任。

杉田　一真　産業能率大学　教授

産業能率大学経営学部教授、学長補佐、教育支援センター長。 専門は、経済法、交渉学、リーダーシップ開発、Collaborative Approach©。経営コンサルタントとして大手企業のマーケティング戦略の策定などに従事した後、慶應義塾大学院政策・メディア研究科特任准教授、福澤諭吉記念文明塾運営委員等を歴任。研究活動と並行して大学の教育改革に取り組み、複数の大学で教育プログラムの開発やカリキュラム改革に携わる。日本高等教育開発協会「JAED Good Teaching Award」受賞。文部科学省「大学教育改革加速プログラム（AP）」事業推進責任者を務め、S評価を獲得。大学通学課程事業推進委員会副委員長。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：田村　次朗（慶應義塾大学法学部教授・ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー）/杉田　一真（産業能率大学教授） 主題：リーダーシップ実践Ⅰ　～課題提示 説明：自身のリーダーシップを再確認・再構築する機会として、他者と協働で社会課題解決に取り組みます。
2021年06月26日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：隅田　浩司（東京富士大学経営学部教授） 主題：対話力と戦略的意思決定 説明：組織内対話力向上に不可欠なスキルと、心理バイアスを乗り越えた適切な意思決定実践のための方法論について学びます。
2021年07月03日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：隅田　浩司（東京富士大学経営学部教授） 主題：交渉力 説明：交渉学の基礎理論について、模擬交渉を実践し、交渉学の基礎理論について学びます。
2021年07月10日(土) 3限（13:00～14:30）	講師：杉田　一真（産業能率大学教授） 主題：リーダーシップ実践Ⅱ　～最終発表 説明：グループごとに最終提言を発表し、リーダーシップ実践全体を振り返ります。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

あなたの中の動物たち―心の起源を訪ねて―

2021年06月19日(土)

4限（14:45～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21113
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

日本のことは外国と比較することでよりよく分かるようになります。人間の心も、他の動物と比較することによってより深い理解が得られます。ヒトの心は進化の結果として獲得されたものと考えられます。そのうちのいくつかは、私たちだけが持っているものですが、いくつかは動物と共有しているものです。霊長類と共有しているものもありますが、ネズミと共有しているものも、鳥と共有しているものも、魚と共有しているものもあります。そして、それらの動物たちもその動物に固有なものと他の動物と共有しているものを持っています。この講座では、私たちの中の動物と共有する心を尋ねてみようと思います。心の進化を探る旅です。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

渡辺　茂　慶應義塾大学　名誉教授

慶應義塾大学卒業後、大学院に進学し、そのまま大学に40年間勤めました。心理学の研究室にいたわけですが、一貫して動物の実験に従事しました。「硬い」研究ではハトの視覚認知の神経機構の研究をしましたし、空間記憶と海馬という脳の場所の関係も調べました。「軟らかい」研究では、ハトに絵画の弁別を訓練することに成功し、イグ・ノーベル賞を受けました。小鳥が現代音楽より古典音楽を好むことも突き止めました。また、マウスも共感を持つことも明らかにしました。それらの成果のいくつかは講座の中で紹介できると思います。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：知覚世界の多様性：動物たちの世界と私たちの世界 説明：視覚を中心に、私たちが見ている世界と動物の世界がどう違うのかを話します。
2021年06月26日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：知性の多様性：私たちは頭が良いのか 説明：万物の霊長と言われるヒトは当然頭が良いと思われます。しかし、最近の研究はそうでもないことを示しています。
2021年07月03日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：社会行動の多様性：私たちだけが「道徳的」か 説明：ここでは道徳がどのように進化してきたのかを考えます。
2021年07月10日(土) 4限（14:45～16:15）	主題：脳の多様性：私たちの脳は特別か 説明：ヒトは大きな脳を持っていますが、他にも大きな脳を持っている動物がいます。人脳の特徴はなんでしょうか。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

リーダーシップと教養講座

2021年06月19日(土)

5限（16:30～18:00）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21114
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・皆様がより受講しやすいように、厳選した講師陣による4回のセッションに生まれ変わりました。・実社会で活躍する各界のリーダーやプロフェッショナルの先生方のお話は、社会人のみならず、大学生、大学院生の方々にとっても、社会に出てから役立つ知識・発見が多いと思います。「リーダーシップ基礎実践講座」との同時受講によって、より実践的な力がつくカリキュラムになっています。		

講座概要

21世紀は、教育の概念が大きく変化します。これまでのいわゆる受験勉強のような暗記型、あるいは受動的に知識をインプットするようなものではなく、主体的に考え、自ら答えを見出す能動的な姿勢が求められるのです。そして、私たちは生涯、常に学び続ける必要があるのです。

　この「リーダーシップと教養講座」では、その新しい学びのスタイルを実現します。実社会で豊富な経験を持つ各界のリーダーやプロフェッショナルを講師として招聘し、講師の問題意識・課題を共有します。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

田村　次朗

慶應義塾大学　法学部　教授／ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー（本講座コーディネーター）

慶應義塾大学法学部教授／ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー／（本講座コーディネーター）
専門は、経済法、国際経済法、および交渉学。各省庁などの委員を務めるとともに、日米通商交渉、WTO（世界貿易機関）交渉等に携わる。ダボス会議（世界経済フォーラム）の「交渉と紛争解決」委員会の委員等、最前線における国際交渉の活躍経験もある。日本における「リーダーシップ基礎」・「交渉学」の研究・教育の開発に取り組んでいる。

山内　慶太　慶應義塾大学　看護医療学部・大学院健康マネジメント研究科教授

平成3年慶應義塾大学医学部卒業、医学部助手を経て、2001年看護医療学部助教授、2005年より看護医療学部・大学院健康マネジメント研究科教授、現在に至る。専門は、医療政策・管理学、精神医学、塾史。博士(医学)。慶應義塾横浜初等部の開設準備室長、部長を歴任。慶應義塾福澤研究センター所員、一般社団法人福澤諭吉協会理事を兼ねる。『福澤諭吉著作集』第5巻、『練習は不可能を可能にす』、『父 小泉信三を語る』、『アルバム 小泉信三』、『小泉信三エッセイ選』を編集。主な共著書に『福澤諭吉歴史散歩』『慶應義塾歴史散歩』（以上慶應義塾大学出版会）など。

笹沼　泰助　株式会社アドバンテッジパートナーズ　代表パートナー

慶應義塾大学法学部卒業、同大学大学院経営管理研究科修了（MBA取得）、ハーバード大学ジョンエフケネディ政治行政大学院修了（MPA 取得）。 大学卒業後、積水化学工業株式会社入社。大学院修了後、ベインアンドカンパニーおよびモニターカンパニーにて日米欧有力企業の企業戦略の立案、個別事業の競争戦略の立案、収益性改善計画の立案と実行などの業務に従事。1992年アドバンテッジパートナーズを創立、共同代表パートナーに就任。1997年日本初となるバイアウトファンド設立。以来、プライベートエクイティ投資事業に従事。アドバンテッジパートナーズは東京、香港、シンガポール、上海にオフィスを有する。

朝比奈　一郎　青山社中株式会社　筆頭代表CEO

1973年生まれ。東京大学法学部卒業。ハーバード大行政大学院修了(修士)。経済産業省ではエネルギー政策、インフラ輸出政策、経済協力政策などに携わる。「プロジェクトK（新しい霞ヶ関を創る若手の会）」初代代表。2010年に青山社中株式会社を設立。政策支援・シンクタンク、教育・リーダー育成を行うほか、8つの自治体（三条市、那須塩原市、川崎市、沼田市、生駒市、妙高市、軽井沢町、越谷市）のアドバイザー、ビジネス・ブレークスルー大学大学院客員教授なども務める。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 5限（16:30～18:00）	講師：山内　慶太（慶應義塾大学看護医療学部・大学院健康マネジメント研究科教授） 主題：リーダーシップと福澤諭吉 説明：企業の不祥事や停滞がしばしば指摘されるが、そのような企業と経営者共通の特質は何か、福澤先生の「独立して孤立せず」「多事争論」「怨望」等の議論を基に考えたい。
2021年06月26日(土) 5限（16:30～18:00）	講師：笹沼　泰助（株式会社アドバンテッジパートナーズ　代表パートナー） 主題：リーダーシップとビジネス 説明：PE投資事業を通して観察された、組織内における地位を超越したリーダーシップのあり方について議論する。
2021年07月03日(土) 5限（16:30～18:00）	講師：朝比奈　一郎（青山社中株式会社筆頭代表CEO） 主題：リーダーシップと教育 説明：変革に向けた行動を起こすリーダーに必要とされる要素はなにか、また、その習得法について解説する。
2021年07月10日(土) 5限（16:30～18:00）	講師：田村　次朗（慶應義塾大学法学部教授／ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー） 主題：リーダーシップ基礎力をつけるために必要なアカデミックスキルとは　～リーダーシップ基礎教育への挑戦～ 説明：リーダーシップと教養教育がなぜ必要なのか、本講座の目的を解説する。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

ビジネス・教養のための経済法則を学ぶ―ポスト・コロナ時代の経済と政府の役割―

2021年06月19日(土)

5限（16:30～18:00）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	春学期後半	**講座番号**	21115
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

「一匹のアリを観察するだけでは、アリの集団全体の振る舞いを把握できない。」というモーブッシン（Michael J. Mauboussin, 1964-）の言葉に象徴されるように、少数の個人の行動から社会全体を理解することは困難であり、そこで「社会科学の女王」である経済学が必要となります。一方、変化し続ける社会を分析対象とする経済学においては、現在の理論が過去の集積の頂点ではないので、経済学の歴史を俯瞰し、古典によって現在の経済学を相対化することが不可欠です。
「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とはビスマルク（Otto Eduard Leopold von Bismarck-Schönhausen, 1815-1898）の言葉。
経済学の歴史を顧みて様々な考えの根底を見据え、未来に踏み出すための手掛かりをつかむ――これが本講座の目的です。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

藤田　康範　慶應義塾大学 経済学部 教授

慶應義塾大学経済学部卒（表彰学生）東京大学大学院工学系研究科修了。博士（工学　東京大学）
専門は応用経済理論・経営工学。数式によって経済や経営を記述し、連立方程式や条件付き最適化問題の解として政策や戦略を策定する方法を研究しています。最近では、視野を拡げ、付加価値を高めるための実践的研究を大学のゼミナールで行っています。

スケジュール

日　時	内　容
2021年06月19日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：債務残高/GDP比率の決定に関する経済法則 説明：増税や政府支出の増加が債務残高/GDP比率に与える影響を考えます
2021年06月26日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：GDPの決定に関する経済法則 説明：GDPの決定に関するケインズの考え方の基礎を学びます
2021年07月03日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：政府支出の効果に関する経済法則 説明：2回目のモデルに基づいて、政府支出の効果に関するケインズの考え方の基礎を学びます
2021年07月10日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：債務残高/GDP比率とGDPの同時決定に関する経済法則 説明：1回目と3回目のモデルを融合して、景気を悪化させずに債務問題を解決する方法を考えます

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

理工学部　学問のすゝめ　　ーBeyond ５Gのビジネスチャンスー

2021年09月25日(土)

2限（10:45～12:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期前半	**講座番号**	21116
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

COVID-19によりオンライン化が加速し、同時に社会のスマート化、ディジタル化が急速に進展すると予想されている。米国では、コロナ後の競争力が期待される技術を、コロナテックとし、多くの投資を生んでいる。すでにサービスが始まった５Ｇ、そして次の技術パラダイムであるBeyond５Gに、慶應義塾は多くの研究リソースを持っており、医工連携やスマート社会への飛躍を目指す。

今回、4回のオムニバスにより、近未来のビジネスチャンスへのヒントとなる、世界的な技術潮流を、技術、アプリケーション、政策と戦略からレクチャし、進むべき方向を示唆する。具体的には、第一回は、前総務省総務審議官である渡辺特別招聘教授に、５Ｇ、Ｂｅｙｏｎｄ５Ｇ、さらに６Ｇと進化するネットワークのアプリケーション、キー技術、ビジネス戦略、マーケットを含めて日本の狙うべき政策・戦略を述べる貴重な講演である。次に第2回から第4回は、Ｂｅｙｏｎｄ５Ｇのキラーアプリケーションである、医療・ヘルスケア、AIと画像、自動運転といった技術を平易に解説し、ビジネスやマーケットの着眼を探る。詳細は以下のとおりである。

（１）IoT/ビッグデータ時代に向けた情報通信戦略の解説(基調レクチャ)
　　慶應義塾大学理工学部　特別招聘教授（前総務省総務審議官）　渡辺克也

（２）Beyond 5G時代のヘルスケア　ートータルヘルスケアー
　　慶應義塾大学理工学部　教授　大槻知明

（３）画像AI技術の可能性　ー医療応用とその未来ー
　　慶應義塾大学理工学部　教授　青木義満

（４）サイバーフィジカルが作る新しい未来　ーネットワーク・データ中心の自動運転社会ー
　　慶應義塾大学理工学部　教授　山中直明

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

山中　直明

慶應義塾大学　理工学部　情報工学科　教授／慶應義塾先端科学技術研究センター　所長（本講座コーディネーター）

1981 慶應義塾大学工学部計測工学科卒．1983 同大大学院修士課程了．同年日本電信電話(株)武蔵野電気通信研究所入社． 以来， NTT未来ねっと研究所、NTTネットワークシステム研究所特別研究員（全３０００名の研究者の中で11名のみ選択された研究員制度）として将来のBroadband ネットワークの研究開発に従事。2000年 米国医電気学会IEEEにおいて当時日本人最年少Fellowとして選抜される。2004 慶大・理工・情報・教授，現在に至る． 工学博士．電子情報通信学会論文賞，1995 IEEE2015 電子情報通信学会業績賞，2018電子情報通信学会功績賞、1999電子情報通信学会論文賞、1995　IEEE　CPMT最優秀論文賞他多数、学術会議連携会員、総務省Beyond５G時代の有線ネットワーク検討会主査等を歴任．現在、電子情報通信学会副会長、Photonic Internet Lab. 代表．IEEEフェロー-、IEICEフェロー．情報処理学会シニアメンバー

渡辺　克也　慶應義塾大学　理工学部　特別招聘教授（前総務省総務審議官）

1984 年 3 月 慶應義塾大学工学部電気工学科修了、1984 年 4 月 郵政省（現・総務省）入省、2003 年 8 月 通信総合研究所主管、2011 年 7 月 情報通信国際戦略局情報通信政策課長、2013 年 6 月 大臣官房審議官（情報流通行政局担当）、2018 年 7 月 総務審議官（国際担当）、2019 年 7 月 総務省顧問（～2019 年 10 月） 、2019年 10月 株式会社インターネット総合研究所顧問、慶應義塾大学理工学部 特別招聘教授

大槻　知明　慶應義塾大学　理工学部　教授

1990 慶應義塾大学理工学部卒．1994 同大学院理工学研究科博士課程修了．博士(工学)．現在，同大学・理工学部・教授．この間，光通信，無線通信，センサの研究開発に従事．井上研究奨励賞，安藤博記念学術奨励賞，エリクソン・ヤングサイエンティスト・アワード，IEEE AP Young Researcher Award，船井学術奨励賞，国際コミュニケーション基金優秀研究賞，電気通信普及財団賞(テレコム技術賞)，CHINACOM '14 Best Paper Award 等各受賞．IEEE ComSoc, SPCE TC Chair，IEEE APB Vice Director, IEEE各種論文誌のEditor等を歴任．2015-2016電子情報通信学会通信ソサイエティ副会長，2019同会長，IEICEフェロー．IEEE上級講師．日本工学アカデミー会員．

青木　義満　慶應義塾大学　理工学部　教授

慶應義塾大学理工学部電気情報工学科教授．2001年早稲田大学理工学研究科にて博士（工学）取得．2002年芝浦工業大学工学部情報工学科講師，准教授を経て，2008年より慶應義塾大学理工学部電子工学科准教授．2017年，同大学教授．現在，画像センシング，パターン認識に関する研究に従事．電子情報通信学会，画像電子学会，映像情報メディア学会，IEEE会員．日本顔学会理事．画像センシング技術研究会会長．

スケジュール

日　時	内　容
2021年09月25日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：渡辺克也（慶應義塾大学理工学部　特別招聘教授（前総務省総務審議官）） 主題： IoT/ビッグデータ時代に向けた情報通信戦略の解説(基調レクチャ) 説明：Beyond 5Gの導入が見込まれる2030年代の社会において通信インフラに期待される事項やその実現に向けた政策の方向性等について、今後のニューノーマル社会の進展も踏まえ、ご説明させていただければと思います。
2021年10月02日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：大槻知明（慶應義塾大学理工学部　教授） 主題：Beyond 5G時代のヘルスケア　ートータルヘルスケアー 説明：Beyond 5G時代は、with/afterコロナ時代でもあり、心身の健康がこれまで以上に重要です。特に非接触は、重要なキーワードです。本講演では、非接触ヘルスモニタリング技術を紹介します。また、心の健康のための感情分類技術などを紹介します。
2021年10月09日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：青木義満（慶應義塾大学理工学部　教授） 主題：画像AI技術の可能性　ー医療応用とその未来ー 説明：深層学習技術の発展により、画像AI分野における技術革新と産業応用が促進されている。医療分野においても、大規模な画像データと専門医の付けたラベルデータを用いることで、従来では困難であった様々な画像診断支援の実現可能性が高まっている。本講演では、画像AI技術の動向と医療を中心とした社会適用の現状、課題について述べると共に、スマート社会の実現へ向けてのAI技術の未来について議論する。
2021年10月16日(土) 2限（10:45～12:15）	講師：山中直明（慶應義塾大学理工学部　教授） 主題：サイバーフィジカルが作る新しい未来　ーネットワーク・データ中心の自動運転社会ー 説明：５Gは、サイバーフィジカルシステムによる、多くのデータ、それもダイナミックなデータをサイバー上で収集し、分析し、調整してリアルを制御するシステムである。ここでは、自動運転車を題材に、高度化するダイナミックビッグデータによる、次世代のスマート社会のアプリケーションを講演する。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

詩の楽しみ方――実作と合評

2021年09月25日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期前半	**講座番号**	21117
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

できるだけ速く、無駄は省略し、正確な答えにたどり着くこと。それを最善とする場面は多いです。しかし、詩（にかぎらずあらゆる作品）の書き方・読み方に「正解」はありません。人の数だけ、さまざまな書き方・解釈の仕方があります。たった一行に何時間、何年立ち止まってもいいし、時には誤読や見間違い、勘違いさえも創作の種になります。講座のなかで自由に書く・読むことを通して、たったひとつの方向に縛られない創作の楽しさを体験していただきたいです。詩は、特別なものや難しいものではなく、どんな人でも生活のなかで楽しめる表現です。詩を通して見える、これまでとは違った新しい世界に、少しでも触れていただけるような講座を目指しています。

専門的な知識を学ぶというよりは、入門編の講座です。

みなさんによる詩の実作・合評を繰り返し、詩を自由に書く・読む楽しさを知ることを目標とします。
２回目の講義以降、毎週宿題として詩を書いていただきます。
（宿題の提出は修了条件には入りません。無理はなさらず、提出できる方のみ提出してください）
つくっていただいた詩をお互いに読む合評を通して、自分の作品を客観的に見る力、他の作品を創造的に読む力も養います。

・講義内容は詩を中心にしておりますが、小説や三田文学会会員投稿欄『ろばの耳』の掲載を目指したエッセーの書き方についても講義を通して触れる予定です。
・初めての方も再受講の方もぜひご受講ください。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

岡　英里奈　三田文學　編集室主任

大阪府生まれ。慶應義塾大学文学部国文学専攻卒業。2016年、小説「カラー・オブ・ザ・ワールド」で第22回三田文学新人賞佳作。 小説、詩、評論、書評などを発表。演劇・ポエトリーリーディングの活動も行う。https://twitter.com/erina_____oka

スケジュール

日　時	内　容
2021年09月25日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：書く 説明：身の回りのすべてが創作の種になります。詩がどのように生活のなかでうまれるか、詩人の文章や作品から探っていきます。
2021年10月02日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：合評① 説明：宿題として実際につくっていただいた詩を合評いたします。想像もしていなかった他者の読み方を知ることは大きな刺激になります。
2021年10月09日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：合評② 説明：2回目同様、新しくつくっていただいた詩を合評いたします。詩の推敲についても触れます。
2021年10月16日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：合評③＋エッセーの書き方 説明：最後の合評です。また、三田文学会会員投稿欄『ろばの耳』の掲載を目指したエッセーの書き方についても少し触れます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

近代日本を考えるヒント（その１）ー「選挙ポスター」で歴史を読み解くー

2021年09月25日(土)

3限～4限（13:00～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期前半	**講座番号**	21118
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・参考文献　玉井清『第1回普選と選挙ポスターー昭和初頭の選挙運動研究』（慶應義塾大学出版会、2013年）。本講座の土台となる著作ですので参考として紹介しましたが、高価ゆえ履修に際しての事前購入や読了は不要です。		

講座概要

歴史を繙く時、活用する資料としてどのようなものを想像しますか？政治家や文人を始めとする著名人が残した日記、書簡、著作、さらには同時代に発刊された新聞や雑誌などが頭に浮かぶかと思います。しかし、歴史資料は、それだけに限りません。同時代に制作されたもの、それが時代を映している限り、思わぬものも歴史資料になります。「選挙ポスター」もその一つです。

「選挙ポスター」を糸口にして、昭和初頭の政治状況を浮き彫りにすることが、本講座の最終目標です。昭和初頭、政党や候補者は、どのような「選挙ポスター」を制作し、何を訴えたのでしょうか？「選挙ポスター」の検証を通じ、同時代の選挙並びに選挙運動の内実に迫ります。それは、現代の選挙、選挙運動にも通じることであり、日本の政治文化の特徴を解き明かすことになり、さらには、隣国の選挙運動の起源の一端を探ることにもつながります。

ところで、我が国に、選挙ポスターが活用されるようになったのは、いつ頃かご存じでしょうか？それが活用されるようになった契機は一体何だったのでしょうか？実は、こうした素朴な質問に、明確に答えられる研究は行われていませんでした。政治学研究の分野で、選挙研究は盛んに行われ、近年の発展は目覚ましいものになっていますが、選挙運動の内実にまで踏み込んだ研究はそれほど多くはありません。さらに「選挙ポスター」に注目した研究は殆どないと言ってもよいかもしれません。それは、どうしてなのでしょうか？

その理由を説明すべく、「歴史資料」の発掘（ここでは「選挙ポスター」）の経緯とその解明の道筋を履修者とともに辿っていきたいとも考えています。それは、推理小説の謎解きをするような面白さであり、知的好奇心をくすぐる営みでもあります。歴史研究の醍醐味を堪能するための知的冒険の窓口に皆さんをお連れしたいと思っています。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

玉井　清　慶應義塾大学　法学部　教授

慶應義塾大学法学部教授（法学博士）。専攻：近代日本政治史（政治家、言論人、思想家、政党、選挙、メディア、プロパガンダ、を主対象とする歴史研究）。ハーバード大学（ライシャワー研究所、イェンチン研究所）、 中央研究院（台湾）、オックスフォード大学（日産・日本研究所）、各研究所の訪問研究員を歴任。 主要著作：『写真週報とその時代㊤㊦』（編著、慶應義塾大学出版、2017年）。『第1回普選と選挙ポスター・昭和初頭の選挙運動』（慶應義塾大学出版、2013年）。『原敬と立憲政友会』（慶應義塾大学出版、1999年）。『満州事変の衝撃』（共著・頸草書房、1995年）。『大麻唯男』（共著、櫻田会、1995年）。

スケジュール

日　時	内　容
2021年09月25日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：歴史資料の発掘と選挙ポスター 説明：選挙ポスター発掘の経緯とその資料的価値を、歴史研究を行う上での一次資料（原資料）に当る大切さとともに解説します。
2021年10月02日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：男子普選と選挙ポスター 説明：男子普選実現に伴い、本格的に導入された選挙ポスターを実際に見ながら解説を加え、同時代の政治状況を明らかにしていきます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

近代日本を考えるヒント（その２）ー「歌」で歴史を読み解くー

2021年10月09日(土)

3限～4限（13:00～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期前半	**講座番号**	21119
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

「歌は世につれ世は歌につれ」という言葉があります。「歌」は、時代を映す鏡と言えるかもしれません。そうであるなら、「歌」により歴史を繙くことができるのではないでしょうか。本講座は、そうした壮大で野心的ともいえる、あるいは無謀と表現した方がよい挑戦を、昭和の戦争の時代を射程に置いて試みるものです。

この時代、人々が口ずさんだ「歌」、一般に「軍歌」と呼称されている「歌」から同時代の日本人の精神を読み解いていきます。「軍歌」と言うと、戦意昂揚のための「勇ましい歌」を想像しがちですが、皆さんは、そうした印象に捉われすぎていませんか。大衆の共鳴を生んだ「軍歌」は、「勇ましさ」より、どこか「哀愁」や「悲壮感」さえ漂うものです。「軍歌」の中で、敵はどのように描かれたのでしょうか？「軍歌」の中では、敵の打倒を目指して、何が、どのように歌われたのでしょうか？「軍歌」は、戦時下、時代が下るに従い、その内容を変化させたのでしょうか？他国のそれと比較すると何が見えてくるのでしょうか？これらの問題に切り込んでいきます。

さらに、昭和の戦時下、国内に響き渡った「軍歌」は、敗戦とともにどのような運命を辿ったのでしょうか？その検証作業は、GHQ占領下、戦後日本に形成された言論空間の特徴を解き明かすことにもつながります。敗戦に伴い、政府により行われた検閲は撤廃され、日本国民は言論や思想の自由を獲得したと教えられてきましたが、そうした理解だけで十分なのでしょうか？「歌」が辿った運命を辿りながら、ＧＨＱ占領下の言論統制の実際にも迫っていきます。

実際に「歌」を視聴してもらいます。時代の旅先案内人として解説を加えながら、履修者の皆さんを昭和の戦中戦後の時代へとお連れします。是非とも、同時代を追体験する「歴史旅行」の醍醐味を味わっていただきたいと思っています。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

玉井　清　慶應義塾大学　法学部　教授

慶應義塾大学法学部教授（法学博士）。専攻：近代日本政治史（政治家、言論人、思想家、政党、選挙、メディア、プロパガンダ、を主対象とする歴史研究）。ハーバード大学（ライシャワー研究所、イェンチン研究所）、 中央研究院（台湾）、オックスフォード大学（日産・日本研究所）、各研究所の訪問研究員を歴任。 主要著作：『写真週報とその時代㊤㊦』（編著、慶應義塾大学出版、2017年）。『第1回普選と選挙ポスター・昭和初頭の選挙運動』（慶應義塾大学出版、2013年）。『原敬と立憲政友会』（慶應義塾大学出版、1999年）。『満州事変の衝撃』（共著・頸草書房、1995年）。『大麻唯男』（共著、櫻田会、1995年）。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月09日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：戦中戦後の言論統制について 説明：敗戦後、日本国民は戦前の抑圧から脱し、平和と民主主義の掛け声の下、言論と思想の自由を謳歌したと考えられ、教えられてきました。果たして、そうした理解だけでよいのでしょうか？
2021年10月16日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：「軍歌」の検証とその辿った運命について 説明：昭和の戦時下、日本人なら誰もが耳にし、口ずさんだ「歌」を糸口に、歴史の内奥に切り込んでいきます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

幸福経営学―従業員と社会を幸せにする働き方とは―

2021年10月09日(土)

3限～4限（13:00～16:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期前半	**講座番号**	21120
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・2020年度開講の講座と同内容の講座となります。		

講座概要

初日には幸福学の基礎について、2回目には幸福経営学の基礎について、それぞれ学ぶ。
幸福学とは、幸せに関する学問の総称であり、心理学を中心にしながら、幸せなモノづくり、コトづくり、組織づくり、街づくりなどの応用分野も含む。講座では、まず、幸せについての著名な研究について述べる。また、幸せには長続きしない幸せ（地位財を得たことによる幸せ）と長続きする幸せ（非地位財による幸せ）があることを述べる。次に、非地位財による幸せのうち、心的要因についての因子分析を行って求めた「幸せの4つの因子」について述べる。4つの因子とは、やってみよう因子（自己実現と成長の因子）、ありがとう因子（つながりと感謝の因子）、なんとかなる因子（前向きと楽観の因子）、ありのままに因子（独立と自分らしさの因子）である。つまり、夢や目標を持ち、多様な仲間と助け合い、前向きかつ自分らしく生きる人は幸せである。私たちは、それぞれの仕事や活動を通して、全ての人が幸せに生きることのできる世界を構築すべきである。
幸福経営学とは、幸福学を経営に生かすことを目的とした学問である。まず、幸福度の高い社員は生産性や創造性が高く、欠勤率や離職率が低いことが知られている。また、俯瞰的な視点が幸福度につながることも知られている。これらより、社員を幸せにする経営が有効であることがわかる。もちろん、幸せの4つの因子に基づく経営も重要である。このため、これらの条件を満たした幸福経営のあり方や、幸福度診断と従業員満足度やエンゲージメントなどの他の指標との関係について、事例も交えて述べる。
また、いずれの日にも、講義の後に、質疑応答の時間やグループディスカッションの時間を十分に取り、総合的な理解を高めることを目指す。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

前野　隆司　慶應義塾大学　大学院システムデザイン・マネジメント研究科　教授

1984年東京工業大学卒業、1986年同大学修士課程修了。キヤノン株式会社、カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授等を経て現在慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長兼務。博士（工学）。著書に、『感動のメカニズム』（2019年）、『幸福学×経営学』（2018年）、『幸せのメカニズム』（2014年）、『脳はなぜ「心」を作ったのか』（筑摩書房，2004年）など多数。専門は、システムデザイン・マネジメント学、幸福学、イノベーション教育など。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月09日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：幸福学の基礎（Introduction to Well-Being Study） 説明：地位財と非地位財、幸せの4つの因子（やってみよう、なんとかなる、ありがとう、ありのままに）など、幸せの基礎について学ぶ。
2021年10月16日(土) 3限～4限（13:00～16:15）	主題：幸福経営学の基礎（Introduction to Well-Being Management） 説明：伊那食品工業をはじめとする幸せな経営を実践する経営の事例を交えて、幸福経営学の基礎について学ぶ。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

Society5.0における法―自由と規制の未来

2021年10月30日(土)

2限（10:45～12:15）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21121
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・2020年度開講の講座と基本的に同内容の講座となります。		

講座概要

人工知能（AI）技術の発展は、我々の日常にすでに影響を与え始めており、社会全体を大きく変化させる可能性を秘めている。その先に展望されるSociety5.0が実現するものがサイバー（情報）とフィジカル（物質）の世界の融合だというのはどのような意味かを、第三段階としての工業社会・第四段階としての情報社会との対比によって検討したのち、その展開のなかで法がどのような変容と危機に直面するかについて議論する。具体的には、IoT（internet of things; モノのインターネット）、ビッグデータ、プロファイリング、ロボティクスなどこの分野で広く言及される概念が相互にどのように関連しどのような社会を実現すると考えられるのか、そこにおいて広く導入されると考えられる新たな統治方法であるアーキテクチャやナッジの特質と危険性、広範囲な情報収集と監視が快適な生活に結び付く事例として最近注目されている「個人信用スコア」の社会的意義などを確認した上で、それらにより近代以降の社会の基礎となっている法にどのような影響が生じるかを分析する。その際、たとえば自動運転技術の発展によって交通事故の責任配分や車検制度に変化が生じるといった具体的な法制度への影響を取り上げるよりは、法が全体として前提しているさまざまな理念、たとえば自律的な個人やその自己決定、予測可能性と回避可能性に依存する責任といったものの変容とゆらぎを主として扱うことにする。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

大屋　雄裕　慶應義塾大学　法学部　教授

1974年生まれ。慶應義塾大学法学部教授、専攻は法哲学。東京大学法学部卒、同大学助手・名古屋大学大学院法学研究科助教授・教授等を経て現職。著書に『自由とは何か：監視社会と「個人」の消滅』（ちくま新書、2007年）、『自由か、さもなくば幸福か？：21世紀の〈あり得べき社会〉を問う』（筑摩選書、2014年）、『裁判の原点：社会を動かす法学入門』（河出ブックス、2018年）等がある。内閣府「人間中心のAI社会原則検討会議」構成員、総務省「AIネットワーク社会推進会議」構成員、総務省情報通信政策研究所特別研究員などを務める。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月30日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：Society5.0と変容する社会 説明：サイバーとフィジカルの融合とはどのような意味か、それがもたらす社会のあり方と法の関係について考える。
2021年11月06日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：AIの発展と法の支配 説明：人工知能技術の発展が法にどのような危険をもたらすのか検討し、その対策を考える際の視点を分析する。
2021年11月13日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：アーキテクチャとナッジ：新たな統治手法 説明：我々が選択を行なう環境を物理的にデザインすることを通じて行使される権力のあり方について分析する。
2021年11月27日(土) 2限（10:45～12:15）	主題：個人信用スコアからデジタル・レーニン主義へ 説明：ビッグデータをもとに個々人の行動・特性を評価するシステムの社会的意義について検討する。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

文章表現　小説・エッセイの書き方(その2)

2021年10月30日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21122
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

文章は才能ではなく技術で書く。そのために必要なテクニックを理論と実践、読むことと書くことから学んでいきます。
秋学期より、実践的に創作していきましょう。 読者を意識するということを念頭に、書く。書いたものはクラスで読んでもらう。
自分で書いたものを読んでもらい、意見を聴くというのは、なかなか経験できない勉強になるはずです。
他の受講生に読んでもらうことも大切ですが、どうしても抵抗ある方は、私からの講評だけにいたします。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

黒川　英市　三田文學編集部　渉外広報担当主任

1979年東京生まれ、慶應義塾大学経済学部卒。出版社勤務を経て、現在、東京工芸大学芸術学部講師。三田文學編集部勤務。小説「リンガの彼方」で第二十三回三田文学新人賞奨励賞受賞。「ディーピカ」（「三田文學」133号）、「跛行」（「三田文學」142号）「座談会　アジア放浪から見えるもの」（「三田文學」131号）等。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月30日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：「日本語の特性」と表現方法 説明：日本語には、他言語にはない特性がいくつもあります。無意識に使っている言語を見直して、その特性を使った表現方法を考えます。
2021年11月06日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：創作について 説明：いくつかの例を読みながら、読者を意識するということを考えます。
2021年11月13日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：創作１ 説明：まずは短い作品を書いてみましょう。書いたものはクラスで読んでいきます。第三者に読んでもらうということを考えましょう。
2021年11月27日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：創作２ 説明：3回目の続きです。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

中華料理から見た日中文化交流史話

2021年10月30日(土)

3限（13:00～14:30）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21123
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

現在の日本人にとって和食、洋食、中華は毎日の食卓に並ぶ日常の料理であり、自国料理である和食のみならず外国から伝わった洋食と中華もまた日本人の食生活に欠かせぬものとして定着しています。またそれぞれの料理を専門とするレストランも街にあふれています。本来伝統的な和食の店である居酒屋のメニューにいろいろな国の料理が並んでいるのは日本に来た外国人が面白いと感じることの一つだといわれます。これは日本人の外国文化の受容のあり方を象徴しているものといえます。中国文明の周辺にあった日本は古来より中国の文化を多く取り込んできました。しかし、食文化に関しては必ずしも最初から全面的に受け入れたわけでありませんでした。中華料理そのものに至っては明治時代になって初めて日本社会に出現しました。そして、本当の意味で日本人の食生活に中華が浸透したのは、戦後、しかも1960年以降だとされています。それはどうしてでしょうか。ここでは日本人の中華料理受容の歴史を語ることで、その中国観の変遷について考えたいと思います。第1講では、中華料理の日本伝来の過程をたどり、とりわけ戦後の日本社会に定着した歴史的背景について考えます。第2講では、周恩来という人物を軸にして、彼が留学した時代の日本における中華料理の黎明期の状況について語ります。第3講では、日本の食文化に中華料理を定着させた代表的な人物として、周富徳と陳建民を取り上げ、彼らがどのような思いで日本人に中華料理を伝えようとしたのかを明らかにします。第4講では、日本人の「中華料理」の常識について再検討し、改めて現代日本人の中国認識について考えます。なじみのある中華料理の話ですので、気軽な気分で聴講していただければ幸いです。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

山本　英史　慶應義塾大学　名誉教授

1950年生まれ。現在の肩書は南開大学歴史学院講座教授、慶應義塾大学名誉教授。慶應を5年前に定年退職し、現在は中国の学生を対象に天津にある南開大学に講義しに行っています。東洋史学、なかでも明清史・近代史の社会史を専門としています。 主要著作に、『赴任する知県―清代の地方行政官とその人間環境』（研文出版、2016年）、『北京餐庁情報－北京を食べて34年』（研文出版、2016年）、『中国の歴史』増補改訂版（河出書房新社、2016年）などがあります。 中国や台湾にはこの30年近く、何らかの用事で毎年行く機会があり、そこで食べる料理についても結構詳しいと自負しています。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月30日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：中華料理がやって来た！ 説明：明治以来、日本に中華料理が伝えられた歴史をたどり、中国の料理が「中華料理」として変容し、日本に定着していった過程を知っていきます。
2021年11月06日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：周恩来と中華料理 説明：中華人民共和国の首相を長年にわたって務め、日本でもよく知られている政治家周恩来と中華料理との関係をたどり、青年時代から晩年に至るまでの料理に対するこだわりを通して、その人物の理解を深めていきます。
2021年11月13日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：中華料理の伝承人 説明：日本の家庭に中華料理を定着させた代表的な二人の人物、周富徳と陳建民の事績をたどり、彼らの中華料理に対する認識のあり方を理解していきます。
2021年11月27日(土) 3限（13:00～14:30）	主題：中華料理から日中両文化を考える 説明：日本人の誰もが中華料理と考える餃子、ラーメン、天津飯などは中国ではむしろ日本料理だと思われている実情を紹介し、日本人と中国人の食文化に対する理解や価値意識の違いを「中華料理」を手掛かりにして考えていきます。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

未来の医療とヘルスケア－ICT・AIとビッグデータを活かす

2021年10月23日(土)
4限（14:45～16:15）

開催回：4回
受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21124
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・講師の都合により、10月30日の講義を10月23日に振替えます。本講座の開講は10月23日となりますので、ご注意ください。		

講座概要

近年、Society 5.0やデジタルトランスフォーメーションといった標語の下で、社会のICT化、データのデジタル化、更には人工知能（AI）の導入が様々な領域で始まっています。しかし、医療界でのICTやAIの活用はとりわけ遅れているように思います。その理由としては、単純作業用のICT・AIよりも高度な専門家の判断を対象にしたICT・AIに大きな期待が持たれていること、個人情報をめぐる法規制のために良質のデータを多数集めることが難しいこと、医療用AIソフトを現場のワークフローへ組み込みことが思いのほか難しいことなどが挙げられます。また、ディープラーニングのもつ過学習、生命を預かることへの責任の所在、医療情報が時代と共に変化していくことなども課題として挙げられます。
本講座では、病院の診療やヘルスケアにおいてどのような取り組みが実際に動いているのか、導入に向けてどのような課題があるのか、また今後どのような展開が考えられるのかについて学んで頂ければと思います。詳細は以下のとおりです。

1)　ICT・AIの医療への実装に向けて～AIホスピタルプロジェクト～
　　慶應義塾大学医学部放射線科学　教授　陣崎雅弘
2)　精神科診療でのICT・AI活用の実際
　　慶應義塾大学医学部精神・神経科学　専任講師　岸本泰士郎
3)　コホート／ビッグデータ研究が生み出すヘルスケア
　　慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学　教授　武林亨
4)　DXの先にある新しい社会とヘルスケア
　　慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室　教授　宮田裕章

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

陣崎　雅弘　慶應義塾大学　医学部放射線科学　教授（本講座コーディネーター）

1987年 慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学放射線診断科入局後、1999年 Harvard 大学付属Brigham and Women's Hospital 留学。　2014年 慶應義塾大学医学部放射線科学教授。2017年 慶應義塾大学病院　副病院長。2018年より内閣府戦略的イノベーション創造プログラムのAIホスピタルプロジェクト担当。日本画像医学会理事長、日本メディカルAI学会顧問

岸本　泰士郎　慶應義塾大学　医学部精神・神経科学　専任講師

2000年慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院、国家公務員共済組合連合会立川病院、医療法人財団厚生協会大泉病院を経て、2009年よりThe Zucker Hillside Hospital（New York, USA）に入職、2012年、Donald and Barbara Zucker School of Medicine at Hofstra、Assistant Professorに就任、2013年より現職。主な研究領域に精神科薬物治療、精神科領域におけるAI技術の活用など。

武林　亨　慶應義塾大学　医学部衛生学公衆衛生学　教授

1989年慶應義塾大学医学部卒。同大学院医学研究科博士課程（予防医学系）、ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程（MPH)修了。2005年より　慶應義塾大学教授（医学部衛生学公衆衛生学）。現在、大学院健康マネジメント研究科委員長、研究連携推進本部副本部長を兼ねる。専門は、疫学・予防医学、産業保健・環境保健。日本産業衛生学会理事。

宮田　裕章　慶應義塾大学　医学部医療政策・管理学教室　教授

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了。同分野保健学博士(論文)。東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座特任教授を経て、2015年5月より慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授。専門はデータサイエンス、科学方法論。専門医制度と連携したNCD、LINE×厚生労働省「新型コロナ対策のための全国調査」など科学を駆使し社会変革を目指す研究を行う。2025日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー―も務める。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月23日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：陣崎雅弘（慶應義塾大学　医学部放射線科学　教授） 主題：ICT・AIの医療への実装に向けて～AIホスピタルプロジェクト～ 説明：現在慶應義塾大学病院は内閣府のAIホスピタルプロジェクトに参画し、 ICT・AIの医療への実装を進めている。その概略と医療界に導入するにあたっての課題を解説する。
2021年11月06日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：岸本泰士郎（慶應義塾大学　医学部精神・神経科学　専任講師） 主題：精神科診療でのICT・AI活用の実際 説明：精神疾患の診断や重症度評価に際して、現在、利用可能な血液学的、画像学的な指標はない。講義ではデジタルフェノタイプと呼ばれる生体のデジタルデータを活用し診断や重症度評価に役立てようとする近年の取り組みにつき概説する。
2021年11月13日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：武林亨（慶應義塾大学　医学部衛生学公衆衛生学　教授） 主題：コホート／ビッグデータ研究が生み出すヘルスケア 説明：ライフコースに寄り添い、クオリティオブライフの向上に寄与するヘルスケアは、どのように生み出されるのか。鶴岡タウンキャンパス・先端生命科学研究所を拠点に実施している鶴岡メタボロームコホート研究の事例をもとに、現状と課題について概説する。
2021年11月27日(土) 4限（14:45～16:15）	講師：宮田裕章（慶應義塾大学　医学部医療政策・管理学教室　教授） 主題：DXの先にある新しい社会とヘルスケア 説明：新型コロナウィルスのパンデミックにより社会のシステムは世界的に大きく変わり始め、データやデジタル技術を活用することの重要性が急速に高まっている。データやデジタル技術は新しい社会とヘルスケアにいかなる価値をもたらすのか。体験価値をとらえることを本質とするデジタルトランスフォーメーション(DX)をキーワードに、社会とヘルスケアの未来について考えたい。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

戦略立案のためのモデル分析入門―AIの活用による予測モデル分析を中心として－

2021年10月30日(土)

5限（16:30～18:00）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21125
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。		

講座概要

「企業は偶然によって成功し、必然によって自滅する」とは『自滅する企業』（The Self-Destructive Habits of Good Companies）におけるシース（Jagdish N. Sheth, 1938～）の言葉であり、戦略、特にオリジナルな戦略がなければ必衰する状況になってきています。
戦略を構築するには、現象のメカニズムを適切に把握し、「どの要素が他のどの要素にどのような影響を与えるのか」を見極めなければなりませんが、その際に力を発揮する手法がモデル分析です。
本講座は、「オリジナル」を文字通り「原点(origin)があること」と捉え、また「戦略」を「定石を超えた知恵」と考え、21世紀をより良く生き抜くために、ミクロ経済学を応用し、個別具体的状況に即してゼロからモデルを構築し、戦略を立案できるようになることを目指します。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

藤田　康範　慶應義塾大学 経済学部 教授

慶應義塾大学経済学部卒（表彰学生）東京大学大学院工学系研究科修了。博士（工学　東京大学）
専門は応用経済理論・経営工学。数式によって経済や経営を記述し、連立方程式や条件付き最適化問題の解として政策や戦略を策定する方法を研究しています。最近では、視野を拡げ、付加価値を高めるための実践的研究を大学のゼミナールで行っています。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月30日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：ロックダウン戦略のモデル分析 説明：昨年4月以降のコロナ感染を例にとり、いつロックダウンを開始し、解除すべきかについての最適値を求めます
2021年11月06日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：「検査＋隔離」戦略のモデル分析 説明：第1回と同様に、昨年4月以降のコロナ感染を例にとり、検査の精度がどのくらいであれば、「検査＋隔離」戦略が有効であるかについて分析します
2021年11月13日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：予算配分戦略のモデル分析 説明：原発被災地域を例にとり、除染のための予算配分の最適値を求めます
2021年11月27日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：予防原則のモデル分析 説明：被災地域からの避難を例にとり、予防原則の是非についてモデル分析します

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp

慶應義塾 Keio University Mita Open College 三田オープンカレッジ

※三田オープンカレッジは土曜日４回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

さようならリベラル！また会う日まで。

2021年10月30日(土)

5限（16:30～18:00）

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学　期	秋学期後半	**講座番号**	21126
教　室	オンライン講座	**形　式**	レクチャー形式
備　考	・1回(90分)、全4回の講座です。・本レクチャーでは、参加者の発言を求めることがあるが、本講座に集まる人々各自に対する尊重を旨に発言をしていただければ幸いである。		

講座概要

・昨今、リベラルは旗色が悪い。リベラル≒左翼、リベラル≒インテリ、リベラル≒外国かぶれ、リベラル≒上から目線、等々。それに対して、保守派は機嫌がいい。洋の東西を問わず、保守派、とりわけ専制君主的な要素のあるそれは、品格や教養に欠け、暴言もしばしば吐くが、となりにいるとオモシロイし、一緒にいるとタノシソウだともっぱら評判である。こうした紋切り型は、言うまでもなく間違っている。ただし、リベラルがハードルが高そうだというのは正解であると思う。もっともそれは、高学歴・高収入の知的エリートの住まう社交クラブに入らないと語る資格が与えられない…という意味においてではない。本レクチャーでは、リベラルに愛想が尽きかけている点で共通する二人の講師がリベラルの限界と詐術を論ずる。が、二人とも、「我こそが真のリベラルである」と言ってはばからない点でも共通している。リベラルと決別し、そして、ふたたび邂逅するための4回の講義にしたい。

・本レクチャーは、駒村圭吾と倉持麟太郎の共同担当で実施する。駒村は、慶大法学部とロースクールで憲法学を講ずる研究者である。倉持は、新進気鋭の弁護士であり、2015年の安保法制論争以来、日弁連憲法問題対策本部幹事等として、与野党問わず、憲法政策の渦中で常に論争を巻き起こすための仕掛けを構築し続けてきた在野の論客である。近時刊行された『リベラルの敵はリベラルにあり』（筑摩書房）は、倉持氏からの論争への招待状である。（なお、やむを得ない事情変更で、講師の登場日程に変更があるかもしれないのであらかじめお断りしておきたい）。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

駒村　圭吾　慶應義塾大学　法学部　教授・慶應義塾常任理事

駒村圭吾（こまむら・けいご）：博士（法学）。ハーヴァード大学ライシャワー日本研究所憲法改正プロジェクト諮問委員会委員。主要著作に、『戦後日本憲政史講義』（法律文化社）（共編著）、『統治のデザイン』（弘文堂）（共編著）、『憲法訴訟の現代的転回』（日本評論社）、山尾志桜里『立憲的改憲』（筑摩書房）（共著）、等多数。

倉持　麟太郎　弁護士（弁護士法人Next代表）

1983年東京生まれ。慶應義塾大学法学部卒業、中央大学法科大学院修了。2012年弁護士登録（第二東京弁護士会）。日弁連憲法問題対策本部幹事、弁護士法人Next代表弁護士。TOKYO MX「モーニングCROSS」レギュラーコメンテーター、安保法制衆院公聴会参考人、World Forum for Democracy、米国務省IVLPに招聘、朝日新聞『論座』レギュラー執筆者。共著に『2015年安保　国会の内と外で』（岩波書店）等、著書に『リベラルの敵はリベラルにあり』（筑摩書房）がある。

スケジュール

日　時	内　容
2021年10月30日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：リベラルをあわれむ 説明：リベラリズムの現状と問題点をおさらいする。
2021年11月06日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：リベラルをしかる 説明：具体的論点をあげて、リベラルの限界を摘出する。
2021年11月13日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：リベラルをわらう 説明：具体的論点をあげて、リベラルの喜劇的結末を論ずる。
2021年11月27日(土) 5限（16:30～18:00）	主題：リベラルをほうむる 説明：真正のリベラルとは何か、フェイクなリベラルを超えて、近未来のリベラルを語り合う。

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）

講座概要

【実施日程】
春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日
【募集形式別受講料・募集人数】
講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）　　：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ　https://www.moc.keio.ac.jp/

三田オープンカレッジ事務局連絡先　keio-moc@withus-inc.co.jp